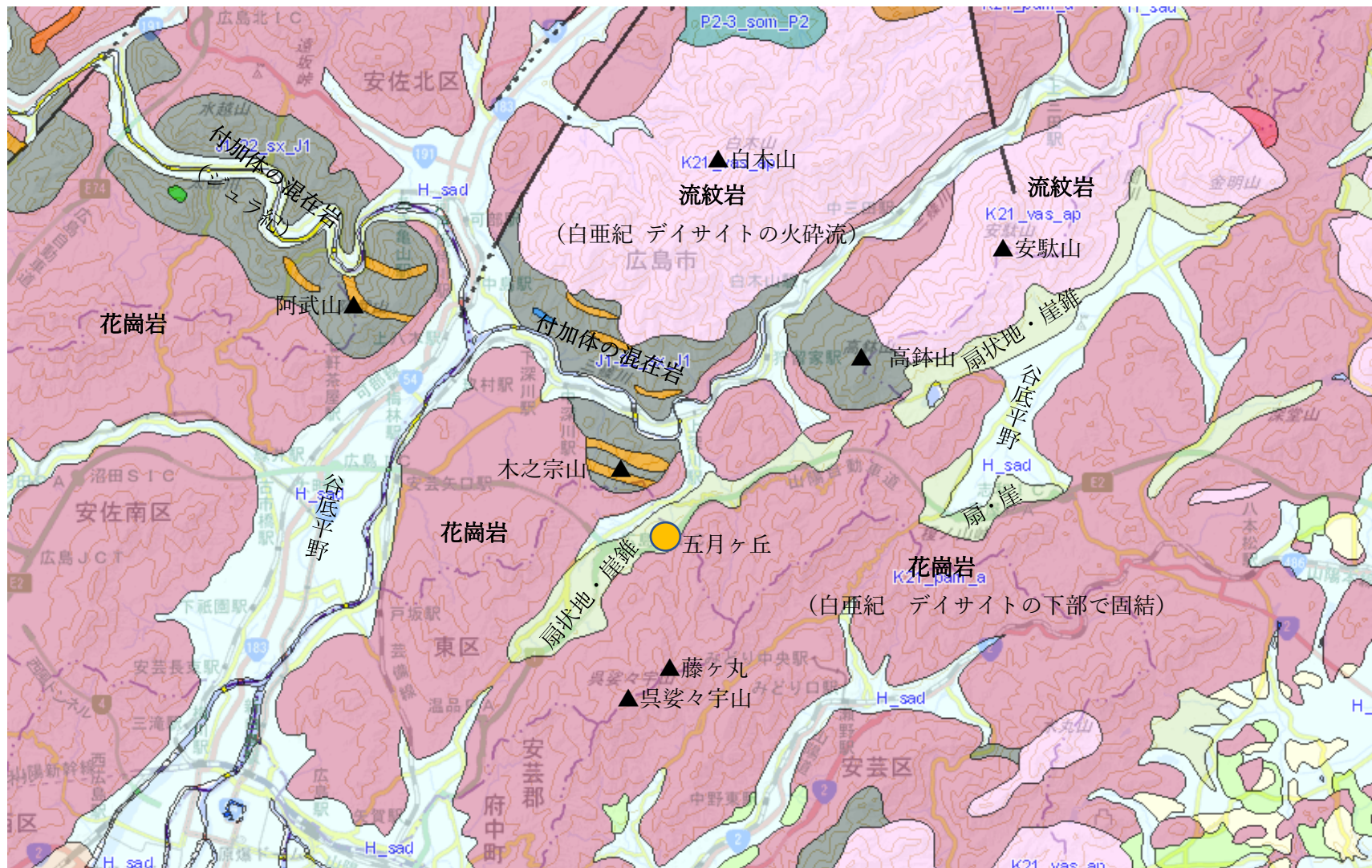


福木周辺の地質図（産総研シームレス地質図より）



上の地質図内で古い順は中生代ジュラ紀の付加体である混在岩（砂、粘土、チャート等）、ついで白木山、安駄山などの白亜紀の流紋岩（火砕流）、更にこれらの下に広く貫入した花崗岩。混在岩と流紋岩は花崗岩の熱の影響を受けている。オレンジ色のチャートは非常に硬い。花崗岩は風化して真砂土になり土砂災害が発生し易い。五月ヶ丘がある福田・小河原と志和の谷には更新世末から現在までの土石流で形成された扇状地や崖錐が湯坂の山地部を除き 14 ㍴に亘り細長く連なっている。